

第1回南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会会議録（要点記録）

【日時】 令和2年12月18日（金）開会：午後7時00分 閉会：午後9時00分

【場所】 南砺市役所 別館3階 大ホール

【出席委員】 14人

堀田 朋基 委員長	舘 英二 副委員長	藤原 洋 委員
梨谷 一男 委員	齊藤 哲也 委員	林 裕一 委員
近川 利行 委員	水戸 明美 委員	高瀬 まり 委員
砂田 英夫 委員	二野井 朋 委員	井上 明世 委員
山田 剛 委員	大河原 晴子 委員	

【欠席委員】 0人

【事務局員】

教 育 長 松本 謙一	教 育 部 長 村上 紀道
教 育 部 次 長 鵜野 幸男	教 育 総 務 課 長 氏家 智伸
生涯学習スポーツ課長	生涯学習スポーツ課主幹(スポーツ係長)
教 育 総 務 課 副 参 事 高田 公美	池田 貴志
生涯学習スポーツ課主幹	教 育 総 務 課 幹 主 石田 雅人
教 育 総 務 課 副主幹(学務係長)	川口 雅也
野村 大輔	

【傍聴人数】 1人

【協議事項等】

1. 開会 教育長あいさつ
2. 委員長の選出について
3. 委員長あいさつ
4. 副委員長の選出
5. 協議事項
 - (1) 中学校部活動のあり方検討委員会のスケジュールについて
 - (2) 教育委員会の方針（案）について
6. 次回協議会の日程
7. 閉会 副委員長あいさつ

【会議の概要】

○開会

教育総務課長 ただいまより、第1回南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会を開会いたします。本来なら、委員の委嘱についてはお一人ずつ委嘱状をお渡しすべきところですが、時間の都合上、お手元に配付させていただきました。よろしくお願いいたします。

1. 開会 教育長あいさつ

教育長 日頃より南砺市のスポーツや文化活動の推進、青少年の健全育成に多方面よりご尽力いただき感謝申し上げます。南砺市では9月から南砺市立学校のあり方検討委員会を立ち上げ、今後の学校のあり方について方向性を協議しているところです。8中学校区に学校を残し、地域と一体となった教育、人間形成に一番よい環境での教育を進めるために、5年ごとに見直ししながら協議することが提案されています。それに伴い課題となるのは部活動のあり方についてです。子供たちに少しでもよい環境を準備してあげたいと考えています。

みなさんの忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

2. 委員長の選出について

事務局 次に、委員長、副委員長の選出に入ります。資料1の「南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会設置要綱」の第5条第1項に「委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く」とあります。

委員長の候補者については、僭越ではございますが、事務局から提案させていただいてよろしいでしょうか。

委 員 異議なし

事務局 それでは、委員長には、富山大学教授の堀田朋基委員に就任していただきたいと思います。ご異議がなければ、拍手をもってご承認をお願いいたします。

委 員 一同拍手

3. 委員長あいさつ

委員長 最近の状況を見ると、少子化によって部活動そのものが成り立たない状況をひしひしと感じます。いろいろな分野の方の知恵を拝借して、生涯にわたって子供たちが満足できる活動ができ、豊かな学生生活を送ることができるような環境づくりに、我々が協力できればと思っておりますので、よろしくお願いします。

4. 副委員長の選出について

事務局 続いて、副委員長を選出させていただきたいと思います。

設置要綱第2項に「委員長は委員の互選によりこれを定め、副委員長は委員長が指名する。」となっております。堀田委員長から副委員長の指名をお願いいたします。

委員長 それでは、南砺市体育協会副会長の館 英二さんに副委員長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委 員 一同拍手

5. 協議事項

(1) 中学校部活動のあり方検討委員会のスケジュールについて

委員長 「中学校部活動あり方検討委員会のスケジュールについて」事務局から資料の説明をしてください。

事務局 【資料2の説明】

委員長 説明が終わりましたが、各委員からご質問・ご意見等ありますか。

委員D 検討委員会の目的に関して、スポーツ庁の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革概要」によると、持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を実現できる改革が必要とあります。教員の負担軽減・教員の働き方改革も目的の中に入ってくるのかなと思います。いかがでしょうか。

事務局 協議の内容の中で教員の働き方改革に関わる部分も出てくるかもしれませんが、子供たちの部活動の充実した環境づくりを第一の目的と考えています。

委員長 この後、教育委員会の方針（案）についての説明がありますが、会の終わりに改めてスケジュールについてご意見等を聞きたいと思います。

(2) 教育委員会の方針（案）について

委員長 教育委員会の方針（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料3～7の説明】

委員長 教育委員会の方針（案）について、委員のみなさんがどう考えているのか、どのような課題があるのかなど洗い出したいと思います。今から 30 分程度グループで意見を出していただきたいと思います。

委員A グループ討議の前に2つ確認させてください。部活動のあり方を考えていくときに、一つ目は、「全員部活動制」と「希望参加制」のどちらのスタンスをとるのか、二つ目は、この検討委員会で「中学校までの活動の制度のこと」か「将来の活動を見越した制度のこと」か、どちらについて話し合えばよいのか聞かせてください。

事務局 1点目について、「希望参加制」として部活動以外の活動でも放課後に夢中になれるものに取り組めるようにしたいと考えています。そのことから、設置した部活動に所属しない生徒がいることも想定されます。2点目について、部活動だけではなく、その後、地域の活動を支える人材の育成という観点から地域で一貫した取組ができる仕組みを考え、好循環が生まれるようになればよいと考えています。

委員同士の意見交換【グループでの意見交換】

委員長 グループ協議を終えて各委員のご意見を一人1分程度で発表をお願いします。

委員D 保護者の立場で話をすると、校区を越えてまで他の中学校に入学するかというと、そうはならないと思います。自分が通うことになる中学校に設置されている部活動の中から選択することになると思うので、本当に子供がやりたいことがやれる環境かということ、少し気になります。

委員 J そもそも中学生にとっては勉強が一番であると思うので、生徒数の減少を考えたら、拠点校化案に近づけていかななくてはいけないかなと思っています。

委員 I 子供は、部活動のために中学校を選ばないだろうと言っていました。スポーツが中心に考えられているが、吹奏楽など文化部のことも考えてほしいと思いました。

委員 B 検討委員会のメンバーは話を聞いたので理解できたが、多くの市民に必要感をもってもらうために、どのように理解してもらうかの戦略も大切だと思います。

委員 C 部活動は地域の方に支えられていることを考えると、部活動の地域移行や適正配置は学校だけではできないので、このような検討委員会で協議することはありがたいと思います。

委員 F 子供たちが「南砺市に生まれてよかった」と思える形になればよいと思いました。

委員 L 将来的に生徒数が減るのは目に見えているので、中学校は市内に2校とし、どちらの中学校とも全部の部活動を選択できるようになるのが理想だと考えています。いろいろな地域の保護者の方に聞くと、子供には自分がやりたい部活動を選ばせてあげたいと聞くので、そのような環境にできたらいいと考えています。

委員 H 小学校からの活動が中学校でもつながるとよいと考えています。拠点校化となっても、子供たちが中心となって活動してくれればよいと考えています。

委員 K 拠点校化のやり方については、子供の立場から見ても、保護者の立場から見ても、教員の働き方の観点から見ても課題があると思うので、この会で話し合って、よい落としどころが見つかればよいと思いました。

委員 E 部活動の盛んな学校は、生徒が生き生きとしていると聞いたことがあります。ある保護者から、スポーツを楽しむことを主眼とした部活動があってもよいのではないかという意見を聞いたことがあります。拠点校化を進めたときに選択できる部活動が減り、運動部を選ばずに文化部への所属率が高くなることを心配しています。今後この会で協議して、よい方向に進めばよいと考えています。

委員 G 吹奏楽部は、学校行事につながる部分も多く、学校行事での演奏が課題になってくると思いました。部活動の拠点校化はとても難しい問題だなと感じました。

委員 A 図1 拠点校化案は、子供が本当にやりたい、保護者もそれを支えるという限定された子供たちのために、選択できる余地を残しておくということと捉え、可能であるとイメージしています。図2の中で、大人になっても指導者として関わることができる、大人になってもスポーツや文化活動を楽しむことができるといった循環がイメージできればよいと思いました。

委員長 南砺の現状を初めて知り、いろいろな課題があると実感しました。いろいろな意見の中で、肯定的なものもあるし、否定的なものもあります。しかし、子供たちのことを考えるという部分は共通しているところだと思います。そのことを拠りどころとして、これから議論を深めていけたらよいと思っています。

先程も説明しましたが、資料2にある今後のスケジュールについては、どうですか。基本的にこのスケジュールでよろしいですか。次の回までに各委員が新たに思いつくこともあるでしょうから、メール等でその意見を出すというのはいかがでしょうか。

事務局 ご提案があったように意見を出していただくことで、議論も深まっていくと思います。意見の送信先をご案内いたします。

委員A 今回はグループでの協議でしたが、全体協議の場も必要だと思います。時間がかかってもいいと思うので、方向を決めるために土台となる部分の議論をしっかりとしておく必要があると思います。

事務局 議論を積み上げていくために、次回だけでは難しいということであれば、別日に会議をもたせていただきたいと思います。

委員長 スケジュールは資料のとおりとし、追加で会議が設定されることもあるということでしょうか。

委 員 異議なし

6. 次回協議会の日程

教育総務課長 次回の協議会についてですが、令和3年2月5日（金）午後7時を予定しております。委員の皆様には、後日ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

7. 閉会 副委員長あいさつ

副委員長 拠点校化について議論するわけですが、果たしてそれはどうなのかというところも含め、また新しい意見があればどんどん出していただければよい協議となるのではないかと思います。今日は長時間にわたり協議いただきありがとうございました。

教育総務課長 以上をもちまして本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。